

製品名: TNFAIP3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00097**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 90 kDa; Observed MW: 82 kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFAIP3
別名	TNFAIP3; OTUD7C; Tumor necrosis factor alpha-induced protein 3; TNF alpha-induced protein 3; OTU domain-containing protein 7C; Putative DNA-binding protein A20; Zinc finger protein A20
遺伝子 ID	7128
SwissProt ID	P21580
免疫原	ヒト TNFAIP3 の合成ペプチド

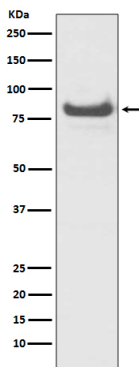
背景

TNFAIP3 は、アポトーシスを阻害し、NF- κ b を活性化するサイトカイン誘導性タンパク質です。リンパ系の機能において重要な役割を果たします。LPS 耐性マクロファージにおける LPS 誘導性炎症性サイトカインおよび IFN β の産生に必須です。

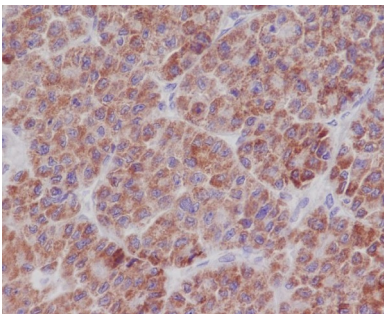
研究分野

免疫学

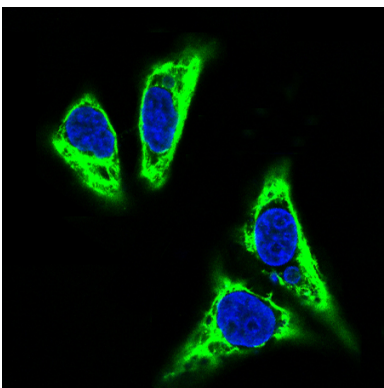
画像データ



TNFAIP3 抗体を使用して、TNF + TPA 溶解物で処理した Jurkat の TNFAIP3 のウエスタンブロット分析。



TNFAIP3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ヒストン H3 (ジメチル K9) 抗体を使用した HeLa の TNFAIP3 の免疫蛍光分析。